

第21回〈ケア〉を考える会-岡山

■日時：2015年11月15日(日) 14:00~16:30

■会場：川崎医療福祉大学 本館6階 6001 演習室 (定員35名)

http://www.kawasaki-m.ac.jp/mw/access/index.php/*

※建物の1階(防災センター)から備え付けのスリッパに履き替えてお上がり下さい。

エレベーターで6階へ行きますと、降りた正面に案内標識があります。

駐車場は、福祉大学の職員・学生駐車場(病院とは道をはさんで北側)をご利用ください(1時間100円)。

■会費：無料 どなたでも参加できます。お気軽にご参加ください。



■テーマ：「**ケアの種**」 「**交感するケア**」

鷺田清一・徳永進 著 『**ケアの宛先**』(雲母書房)

P.1~P.35 を読んで、話し合います。

会のはじめに、読んで心に残った部分、大事だと思うところ、ようわからんけど何か気になる、これはちょっと違うぞ、などの箇所を、読んだ参加者からその理由も含めて発表してもらいます。そして、その中から、全体で話し合うテーマを設けて、さらに話を深めていきます。特に結論のようなものを求めるわけではありません。話すこと、聴くこと、考えること、話し合いのプロセス、対話そのものが大事だと考えます。

いわゆる「読書会」ですが、読んでなくても、本がなくても、気兼ねなく参加できます(読んできてほしいけど……)。発表するかどうかは参加者に任せられ、途中参加、退出も自由です。必要なのは、参加者・発表者へのサポータティブな姿勢と、何かをつかんで帰ってやろうという気構えみたいなものでしょうか。

■呼びかけ人

大賀由花(赤磐医師会病院/透析療法指導看護師)、
河合清志(社会福祉士)、小林真美、清水昭雄(管理栄養士)、
田中順子(川崎医療福祉大学リハビリテーション学科/作業療法士)、
林道也(社会福祉士)、平松邦夫(社会福祉士)、
松川絵里(カフェフィロ代表/大阪大学CSCD 特任研究員)

■参加申し込み・問い合わせ：

884michiya@gmail.com 090-5366-1497 (林)

■懇親会：

終了後に、会場近くの居酒屋で懇親会を開きます(希望者)

※ ホームページもご覧ください ⇒ <http://okayama-care.jimdo.com/>



「〈ケア〉を考える会-岡山」とは……

▼岡山(倉敷)で、〈ケア〉について学び考えています。

〈ケア〉といえば、「看護」「介護」「支援」「世話」などが頭に浮かびます。超高齢社会を生きる私たちにとって、切実な課題の一つです。そして、〈ケア〉は、もっと広く捉えることもできます。たとえば広井良典氏は、ケアを「人と人との間の『関係性』という意味に理解してみたい」と述べ、さらに、個人がコミュニティや自然などとながっていくような方向でもケアを考えます。「『ケアの哲学』とでもいうようなものが必要」とも言っています。また、鷺田清一氏は「臨床哲学」の重要テーマの一つに「ケア論」を置き、「ケア」の奥深さをさまざまに説いています。この会では、〈ケア〉について、身近なところから理念的なものまで、そして、狭い意味から広い意味まで、幅広く深く考えていきます。

▼この会の参加者は、医療・看護・介護・福祉・教育などの現場、または地域や家庭などで〈ケア〉に関わっている方、大学や学校で〈ケア〉の教育・研究に携わる方や学んでいる方、さらに、その他、〈ケア〉に関心や関係のある方などです。〈ケア〉に関わる人たちが学び交流することで、明日からの力を得る〈場〉となることを願います。

▼会では、本を読んだり、または、人の話を聞いたりして、語りあいます。

そして、会の後には、会場近くの居酒屋で懇親会を開きます(希望者)。

学び、語り合い、そして、食べ、飲み、さらに、語り合う。

この会は参加者の“つながり”を大切にします。

